

脳卒中^①で要介護状態^②になってしまう人を減らしたい...

茅野市国保の状況によると、令和3年度、脳血管疾患新規患者数は60人いました。この中には、若くして発症してしまう方や、要介護状態になってしまう方もいて、特に脳出血、くも膜下出血、脳梗塞では、かなり高い割合で要介護状態になってしまっていることがわかりました。

令和3年度 脳血管疾患新規発症者

脳卒中分類	(人)	(%)
脳梗塞	20	32.8
脳出血	8	13.1
くも膜下出血	4	6.6
その他	29	47.5
合計	61	100.0

*1名重複あり (KDB)

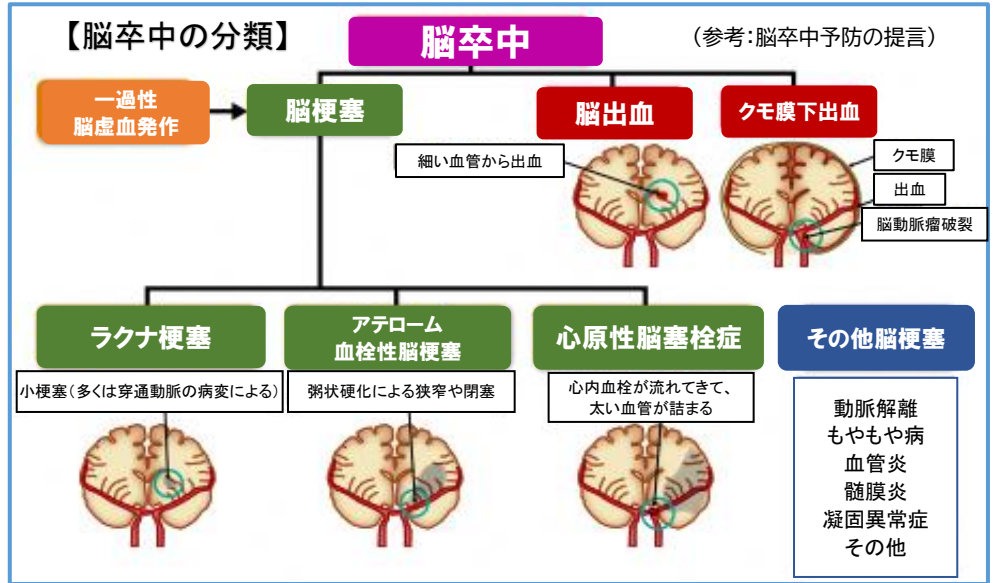
脳卒中を発症した

32人中 12人(37.5%)が
65歳未満の若い方でした。

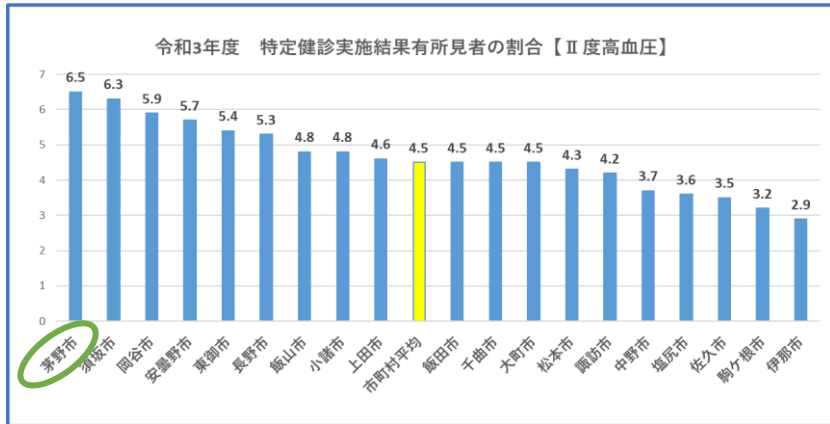
32人中

介護になってしまった人は？

脳梗塞	20人中 6人 (30%)
脳出血	8人中 6人 (75%)
くも膜下出血	4人中 2人 (50%)
合計	32人中14人 (44%)



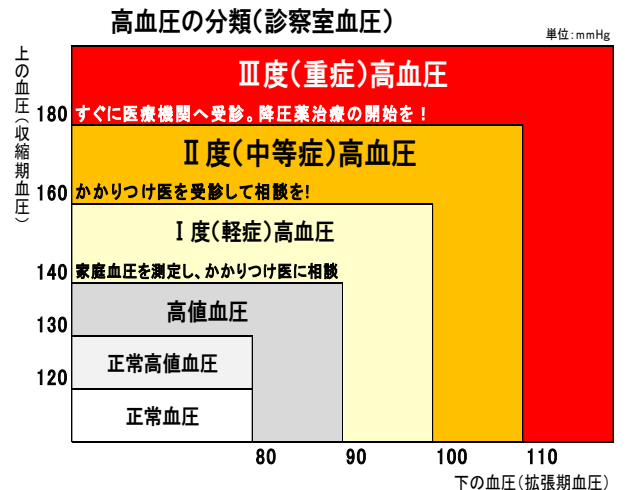
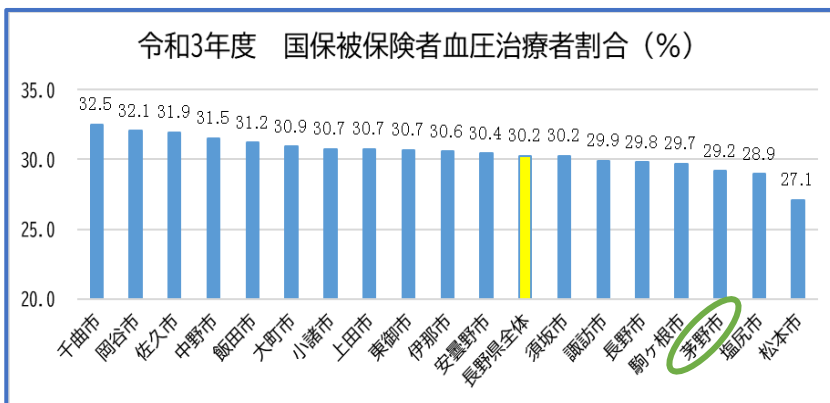
脳卒中の最大の危険因子は高血圧です。



特定健診の結果では、Ⅱ度以上高血圧者の割合は、19市中1位の状態がH25年度から続いています。

一番低い市が2.9%に比べ、茅野市は6.5%と2倍以上の割合となっています。5年間で比べても高血圧者は減少していません。

高血圧の治療をしている人の割合を調べてみました。



茅野市は、高血圧の人が多いですが高血圧の治療をしている人は少ないことがわかりました。

大切な脳を守るために早めに治療を開始し血圧をコントロールすることが大切です。

まずは家庭血圧を測定しましょう